SANDVINE

Usage-Based Services

認識上の価値とユーザーの行動に基づく革新的なサービスプランを立ち上げることで、収益を増加

Sandvineのアプリケーションおよびネットワークインテリジェンス機能は、

5Gのコアおよびエッジ環境で活用されます。重要なコンテキストおよびスライス認識を提供して、個人および法人市場向けの5Gのバリューチェーンにおいて新しいサービスの創出を起こし、通信事業者の地位を向上します。

USAGE-BASED SERVICESのメリット

柔軟な割り当てオプション
洗練されたPCCソリューションを使用して、小規模から無制限までさまざまな割り当てで、できるだけ多くのユーザーに対応

組み込みの割り当てカウント
SandvineのQuota Managerは、モバイルネットワーク用のGxインターフェイスと固定ネットワーク用のIPDRを介して、OCSなしでクォータ使用量の収集を可能にし、強制アクションをPCEFに通知

SandScriptを利用
SandvineのDevOps言語であるSandScriptは、ポリシーとサービスの作成に比類のない柔軟性とカスタマイズを可能にし、革新的で説得力のある計画を提供

速度の差別化
高解像度と帯域幅を必要とするアプリケーションの愛好家に対応するために、ゲームとビデオの高速プランを提供

より優れたパーソナライゼーション
ゼロレーティングやアプリケーションベースのプランなど、使用ベースのサービスを他のユースケース ソリューションと組み合わせることで、よりパーソナライズされたサービスを提供

市場の概要

5Gへの移行が進むにつれて、モバイル接続とモバイル接続性への依存度が高まり続けています。モバイル事業者は、収益性の問題とネットワークの大規模な拡大に直面しています。

無制限のデータプランは、スマートフォンの急増時に人気を博しました。この万能型のアプローチはすべての顧客を同じバケットに押し込み、サービスを差別化する余地を残しませんでした。つまり、携帯電話事業者は価格で競争することを余儀なくされたのです。モバイル市場はモバイルデータトラフィックとネットワーク容量の拡大の2つにおいても、急成長のピークには達していません。しかし、通信事業者はARPUの低下とデータ使用量の増加により、収益と、設備投資（CAPEX）、事業経費（OPEX）のギャップが拡大しているため、すでに苦戦しています。

無制限のデータプランは、財務状況が安定しているパワーユーザーにとっては魅力的かもしれません。しかし、このタイプのプランは手頃な価格ではないためすべてのユーザーには対応できません。それに比べて、ライトまたは新規モバイルデータのユーザーには、使用量ベースのプランの方が適しています。モバイルデータのユーザーは、実際に使用するデータに対してのみ支払うことを望んでいるのです。

プランが帯域幅 (ボリュームと速度) によって分けられる固定のネットワークと同様に、5Gのプランの価格も設定されることが期待されます。ただし通信事業者は、現在の製品と速度に応じて階層化されたボリュームベースのサービスプランを分けるために、5Gのプランを考える必要はありません。

世界的に、価格はゆっくりとしたペースで手頃になっています。ただし、無線スペクトルのカバレッジが限られている発展途上の市場では、1ギガバイトのデータ使用量ごとに価格が上昇します。これにより、データ通信の採用と信頼に対して躊躇する気持ちが芽生えます。したがって携帯電話事業者は、これらの地域で新しいデータサービスを開始する際に、顧客のニーズと手頃な価格を考慮しなければなりません。ボリュームベースのクォータを備えたプリペイドプランは、かかるコストが明確なために依然として人気があり、顧客のロイヤリティを向上します。こういったタイプのプランは、モバイルデータの使用とより大きなプランへの導入ステップとなっています。

通信事業者は、競合他社との差別化と、顧客ベースと全体的な収益性を拡大するためにできるだけ多くの人々に対応しなければならいという2つの課題に直面しています。新しいサービスプランを上手く実装するには、使用状況、傾向、行動を明確にしてより良いプランの採用を促すことができる豊富な分析が必要です。新しい計画はコストを明確にしつつ、実際のニーズと認識上のニーズを満たさなければなりません。

Sandvine_SB_Usage-Based Services Japanese AW 20220915.indd 1 27/09/2022 09:43

満足度とロイヤルティを高めながら、加入者により多くの価値をもたらす

ソリューション概要

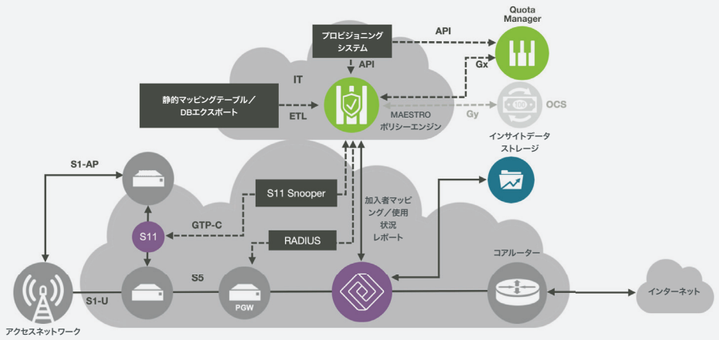
Usage-Based Servicesは次世代のサービスプランの基盤です。事業者は追加の収益創出のユースケースを活用して、市場が負担できる価格で提供される他の差別化されたサービスによりユーザーへさらに大きな価値を提供できます。

Usage-Based Servicesを使用すると、事業者は制約のあるネットワークでトラフィックを管理するための公正な使用ポリシーを使用して、量または時間ベースのクォータを提供できます。このアプローチは加入者の満足度とロイヤルティを高めながら、できるだけ多くの加入者に対応します。徐々に手頃な価格となってゆく、多くのモバイルユーザーがまだデータの使用を躊躇している発展途上の市場において、Usage-Based Servicesは将来の計画とニーズを考える上で一つの起点として機能します。

次世代のサービスプランが導入されることで、加入者は5Gが何をもたらすか体験できます。IoTが登場すると、事業者は少量から非常に大きなパケット、またIoTデバイスによっては無制限のボリュームまで、あらゆる範囲のプランを提供できるようにしていなければなりません。同時に新時代のプランとデバイスではネットワーク全体でデータ配信時間が保証されているため、約束された高可用性と超低遅延が実現できます。

図 1

Quota Managerを使用した一般的な
Usage-Based Servicesの展開



高度なオプションによる無限のサービスの創造性

Usage-Based Servicesは、サードパーティのPolicy and Charging Control (PCC) ソリューション、またはSandvineのQuota Managerを使用して展開できます。Quota Managerを使用して展開すると、多くの高度なオプションを収益化して加入者により多くの価値をもたらし、ARPUを高め、さらにはネットワークリソースをより効率的に利用することにつながります。

Quota Managerを使用すると、事業者は業界で最も低い総所有コストで革新的なサービスプランを実装できます。プリペイドプランとポストペイドプランの両方に高度なオプションを追加して、無限のサービスの創造性を提供しながら、できるだけ多くの加入者に対応できます。

- **スピードティア: 差別化された速度のプランを実装することにより、通信事業者は無制限のプランであっても、請求期間の一部または割り当て許容量全体に対して無制限の帯域幅を提供できます。**
- **スピードパス:** 通信事業者はスピードティアと組み合わせて、加入者に追加のスピードパスでプランを補充することを提案し、ARPU を向上させることができます。
- **データロールオーバー:** 事業者は使用しないデータを転送し、次の請求期間またはそれ以上の期間に追加できるようにすることで、加入者とのロイヤリティを高められます。

Quota Managerでサービスプランを柔軟に作成できるように

- **ローミングプラン:** 魅力的なローミングサービスにより、通信事業者は旅行者や企業をターゲットにしたARPUを向上させるための素晴らしいプランを提供することができます。
- **時刻とカレンダーのプロモーション:** 1日または1か月の特定の時間帯に、通信事業者はGBあたりの価格を引き下げて顧客により多くの価値を提供し、全体的な使用量が少ないときに既存のネットワーク容量を活用できます。
- **デイリーデータパス:** 定額料金で毎日のデータパスが提供されます。毎月の許容量を使用した加入者は、データが必要な日に追加購入することができます。
- **ボルトオン:** 事業者は必要に応じてより多くのデータを購入する機能を顧客に提供できます。

図 2

詳細オプションを備えたUsage-Based Servicesを使用してサービスプランを作成する場合の例

オペレータープラン	固定	モバイル
	GAME ON! **200GBを50Mbpsで**	**STREAM MORE** **50GBを20Mbpsで**
量	**200GB**	**50GB**
スピード	**50Mbps**	**20Mbps**
電話	**無制限の国内通話, 国際電話は1分につき $0.25**	**無制限の国内通話, 国際電話は1分につき $0.25**
テキスト	**300の無料SMS/月**	**300の無料SMS/月**
詳細	50Mbpsで最高解像度のゲーム、クラウドゲーム、4Kビデオストリーミングを毎月50GB分楽しむことができます。クォータを超えた場合は、事業者のアプリケーションで直接スピードパスまたはデータパスを購入できます。	20Mbpsでゲームや4K動画ストリーミングを毎月50GB分楽しめます。クォータを超えた場合は、事業者のアプリケーションでスピードパスまたはデータパスを直接購入できます。
追加	**Night Owl** 夜10時から朝10時までは無料。ビデオはすべてのユーザーに対して720pに制限。	**Free Weekends** 金曜日の午後9時から日曜日の午前11時までは無料。ビデオはすべてのユーザーに対して720pに制限

Sandvine のUsage-Based Servicesの主な機能:

Quota Manager

SandvineのQuota Managerを使用すると、標準のGxを使用してサービスプランを柔軟に作成し、リアルタイムの使用状況の測定機能、権限付与、サービス品質機能、予想外の請求を回避するための通知を実装できます。OCSとの統合を必要とせずに完全なソリューションを導入することで、アーキテクチャが簡素化されるため、事業者はコストだけでなく、時間とネットワーク リソースも節約できます。

数回クリックするだけの設定

Quota ManagerのServiceDesignerを使用すると、数回クリックするだけで新しいプランと機能を利用できます。Sandvineのコンフィギュレーターツールを使用すると、事業者は新しいサービスのサービスロジックを作成し、ボルトオンし、機能を簡単に構成または追加できます。新しい言語を学習したり、新しいプラン、トップアップ、およびボルトオンを追加するためのコーディングを行ったりする必要はありません。

Sandvine_SB_Usage-Based Services Japanese AW 20220915.indd 2-3

27/09/2022 09:43

視覚化と実用的な分析を活用

次世代テクノロジーを念頭に置いてサービスプランを実装するには、成功率を評価できる必要があります。すべてのSandvineユースケースには、Application and Network Intelligence Portal内のダッシュボードが付属しており、事業者は新しいサービスの計画と立ち上げを可視化および制御できます。取り込み状況と使用状況の分布をリアルタイムに理解することで、ネットワークチームはトラフィックをいつどのように管理するかについてのインサイトを得ることができます。また、マーケティングチームは各プランの収益性、加入者の使用行動と消費量について理解を深めることができます。

SandvineのUsage-Based Servicesは、革新的でパーソナライズされたサービスプランの基盤を提供し、4Gと5Gネットワークの両方でユーザーにより多くの価値をもたらし、事業者の収益性を高めます。

SANDVINE について

Sandvineのクラウドベースのアプリケーションおよびネットワークインテリジェンスポートフォリオは、お客様が高品質で最適化されたエクスペリエンスを消費者や企業に提供する支援をいたします。お客様は、当社のソリューションを使用して、コンテキストに基づく機械学習ベースのインサイトとリアルタイムのアクションを使用して、アプリケーションのエクスペリエンスを分析、最適化、収益化しています。モバイルおよび固定ネットワーク全体のトラフィックの95%以上をユーザー、アプリケーション、デバイス、場所ごとに分類する市場をリードする機能により、独自の豊富なリアルタイム データを作成することが可能です。そして、ユーザーとアプリケーション間のやり取りが大幅に強化され、収益が促進されます。詳細については、**http://www.sandvine.com** にアクセスするか、**Twitter@Sandvine**で**Sandvine**をフォローしてください。

SANDVINE
The App QoE Company

Sandvine Japan株式会社
〒105-0021
東京都港区東新橋2-12-1 PMO東新橋6階
japan.sandvine.com
T: 03 6459 0345

Copyright ©2022 Sandvine Corporation. All rights reserved. 許可されていない複製は禁じられています。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。Sandvine ウェブサイトで提供されている、また は 利用可能になったドキュメントなど、参照により本書に組み込まれているすべての文書を含む本ドキュメントは、Sandvine Corporationおよびその関連会社「(Sandvine」)による条件、承認、保証、表明、またはいかなる種類の保証もなしに「現状有姿」および「利用可能」を前提として提供され、アクセス可能になっています。また、Sandvine は、この文書の誤植、技術的またはその他の不正確さ、誤り、欠落について一切責任を負わないものとします。Sandvine の専有情報や機密情報、および/または企業秘密を保護するために、本文書では、Sandvine テクノロジーのいくつかの側面を一般化された用語で記述しています。Sandvine は、本文書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保しますが、Sandvine は、本文書への変更、更新、拡張、または他の追加を、お客様にタイムリーに提供すること、もしくは提供することを確約するわけではありません。

v20220927

Sandvine_SB_Usage-Based Services Japanese AW 20220915.indd 4 27/09/2022 09:43